

令和7年度 環境計量体験学習の開催

一般社団法人大阪府計量協会と大阪府計量検定所の共催により、8月5日（火）同検定所にて「環境計量体験学習」を開催し、府内在住又は在学中の中学生とその保護者の方にご参加いただき、アンケートでは、「理解しやすかった」「楽しかった」など、大変ご好評をいただきました。

体験学習では、普段、口にする「水」の硬度をはかることを通じて、環境計量を体験しました。はじめに一般財団法人関西環境管理技術センターの環境計量士から、数値で表した水の硬度についての講義があり、軟水と硬水の違いにより、料理と水の相性や関西と関東のダシ文化の違いがあることなどを学びました。

その後、硬度の違いを体感するため「利き水」を行い、様々な市販の水を参考に、5種類の水を試飲して硬度の低い順に並べました。測定実習では、色々な実験器具や試薬を使い、キレート滴定法により「水」の硬度をはかり、答え合わせをしました。

また、紙と水を使ったペーパークロマトグラフィーではインクの色を分ける実験や、物質の酸性かアルカリ性かを表す pH（ピーエイチ）についても学びました。



水の硬度に関する講義



「利き水」の風景



水の硬度測定の実験